

AreaLux

ひとセンサ駐車場用防犯照明器具（屋外用）

適合オプション

| 品番 | 品名 | 同梱ランプ |
|--------------|-----------------|------------------------------|
| YFX41605KPX9 | ひとセンサ駐車場用防犯照明器具 | 42形コンパクト形蛍光灯 FHT1 灯（3波長形昼白色） |

| オプション番 | オプション品名 |
|---------|----------|
| YK22815 | 電力柱取付バンド |
| YK22821 | |
| YK23097 | 鋼管取付バンド |
| YK23095 | 壁面取付金具 |

電力柱・鋼管取付時は、省施工金具として YK23096（金具）も使用できます。

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

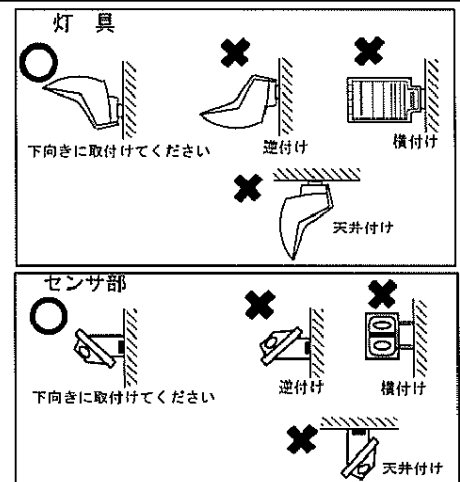
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守の為お客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると落下・感電・発火の原因となります。
- 器具を改造しない。落下・感電・発火の原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所（橋や高架上等）、浴室などの湿気が多い場所、腐食性ガスの発生する場所、沿岸隣接地域では使用しない。
落下・感電・発火の原因となります。
- 器具（灯具・センサ部）の逆付け、横付け、天井付けは行わない。
落下・感電・発火の原因となります。
- 口出し線との接続は、スリーブ等により確実に行い、自己融着テープを巻いてから、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をする。
接続に不備があると感電の原因となります。
- 接地工事（D種設置工事）を確実に行う。
接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
- 器具表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。
指定以外のランプを使用すると、ランプの破損・火災の原因となります。



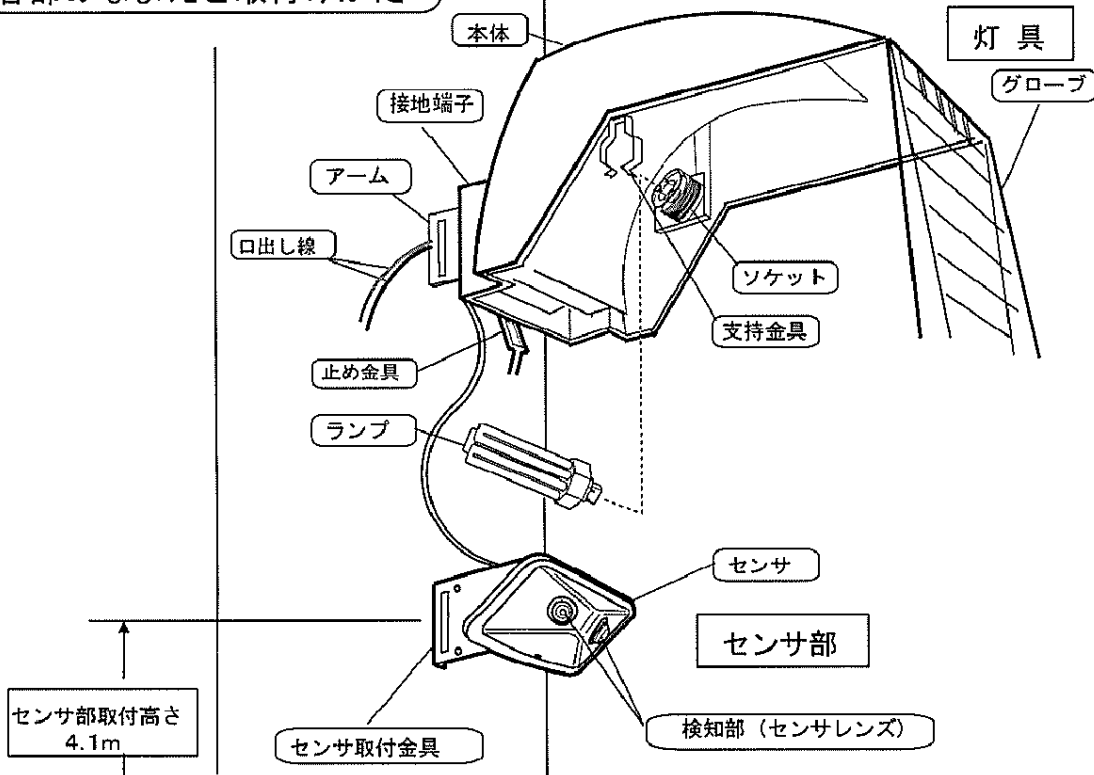
注意

- この器具は一般屋外用（防雨型）器具です。それ以外の場所では使用できません。感電・発火・落下の原因となります。
- 灯具は、60m/s仕様です。それ以外の場所では使用できません。感電・発火・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電源で使用しないでください。
感電・発火の原因となります。
- 周囲温度 35℃以上での使用はしないでください。又、施工時の一時的な点灯確認以外は日中点灯はしないでください。
不点や発火の原因となります。
- 周囲温度 0℃以下で使用はお奨めできません。明るさが得られない場合があります。
- 蛍光灯は周囲の温度により明るさが変化します。周囲温度 0℃～35℃以外で使用した場合、極端に暗くなったり、点灯直後にちらつきの発生の原因となります。

施工前のご注意

- センサの検知性能をより確実にするため器具の取付位置は、取扱説明書の【センサの検知範囲】をよくご覧のうえ設定してください。センサの最適取付高さは 4.1m です。
 - センサを 4.1m より高い位置に取り付けた場合、検知感度が鈍くなる場合があります。また、4.1m より低い位置に取り付けた場合、検知範囲が狭くなる場合があります。
 - 次のような場所には取付けないでください。
このセンサは、温度変化を検知しますので、誤動作の原因となります。
- 1、大理石など反射の強い床面のある所
 - 2、風などでよく揺れる植物などがそばにある所
 - 3、エアコン（室外機）の吹き出し口、換気扇の近く
 - 4、検知の範囲内に交通量の多い道路がある場所
 - 5、前面に障害物のある場所（透明なガラスでも遮断されます）
 - 6、振動の激しいポールなど不安定な所

各部のなまえと取付かた



1 器具（灯具・センサ部）をオプション部品を使用して取付場所に取付ける。

- ・【センサの検知範囲】を参照し取付場所を設定してください。
 - ・センサ部の最適取付高さは4.1mです。
 - ・最初に灯具を取付け、そのあとセンサ部を取付けてください。
- 注) 取付け方は【鋼管取付の場合】・【電力柱取付の場合】・【壁面取付の場合】を参照してください。
 灯具～センサ部の取付距離を指定寸法で行わないとグローブの開閉ができなくなります。

2 口出し線に電源線・アース線を結線する

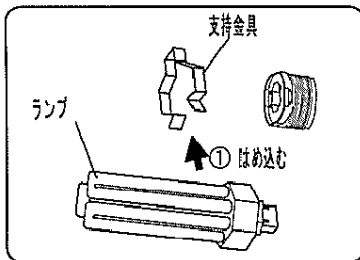
- ・接地端子を使用してD種（第3種）接地工事を行ってください。
 - ・接地が不完全な場合、感電の原因となります。
 - ・口出し線との接続は、スリーブ等により確実にを行い、自己融着テープを巻いてから、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をしてください。
- 不備がありますと感電の原因となります。

ランプの交換方法とグローブの外しかた

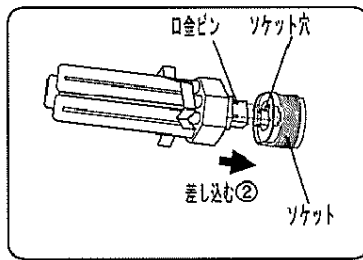
1 グローブを開ける

- ・止め金具をたおしてグローブを開けてください。

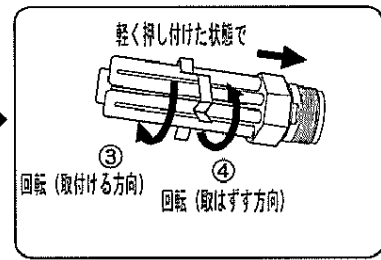
2 ランプ交換を行う



- ① 支持金具にランプをはめ込む。



- ② ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、奥まで確実に差し込む。



- ③ 軽く押し付けた状態でランプを少し回転させ取付ける。(回転角度約15°)

- ④ 取りはずす場合には、軽く押し付けながら取付と逆方向に回転させてください。

3 グローブを本体に押し込む

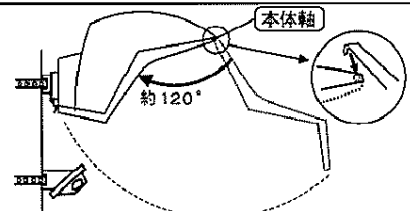
- ・グローブが止め金具に確実に掛かっていることを確認してください。

不備がありますと浸水・落下・感電の原因となります。

グローブがはずれた場合の取付方

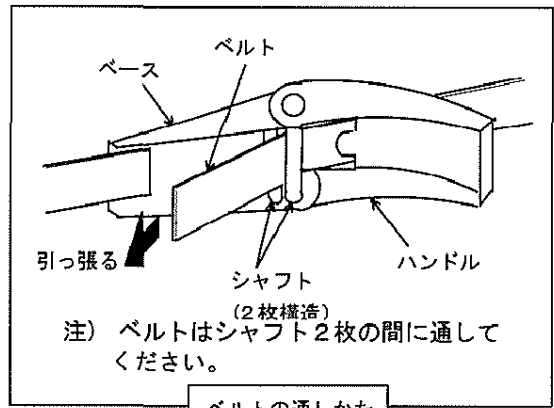
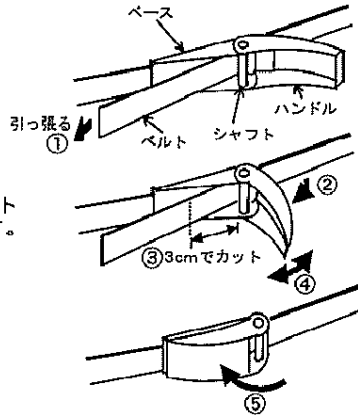
- ・グローブは一定方向のみで取付けられる構造になっています。
- ・右図の様にグローブを約120°開放した位置で本体に取付けてください。
- ・取付ける際、本体の軸がグローブ取付部に確実に入っている事を確認してください。

取付けが不十分な場合グローブ破損の原因となります。

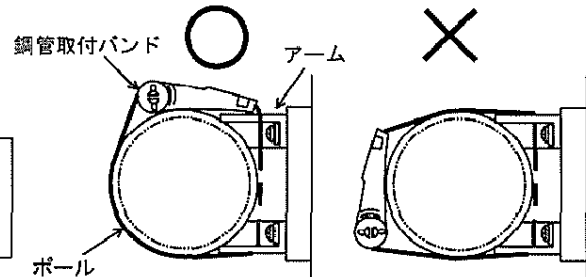
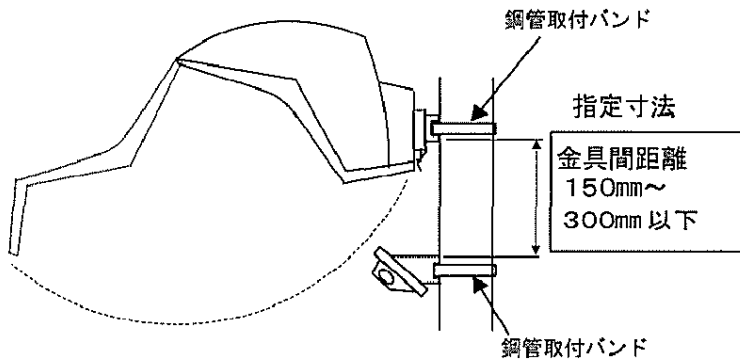


鋼管取付の場合 (YK23097を使用【2本】)

- ①ベルトの先端をシャフトの間 (シャフトは2枚構造) に通してたるまない程度にはります。
- ②ハンドルを90° 起こして仮止めます。
- ③ベルトのあまった部分をシャフトから3cmのところで切断します。
- ④ハンドルを往復作動させ (ラチェット機構) ベルトを緩むことなく十分に締めます。
- ⑤ハンドルをベースに重なるまで倒してストッパーはめます。



ベルトの通しかた



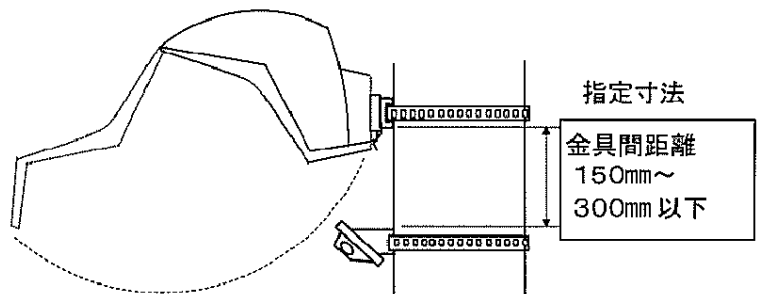
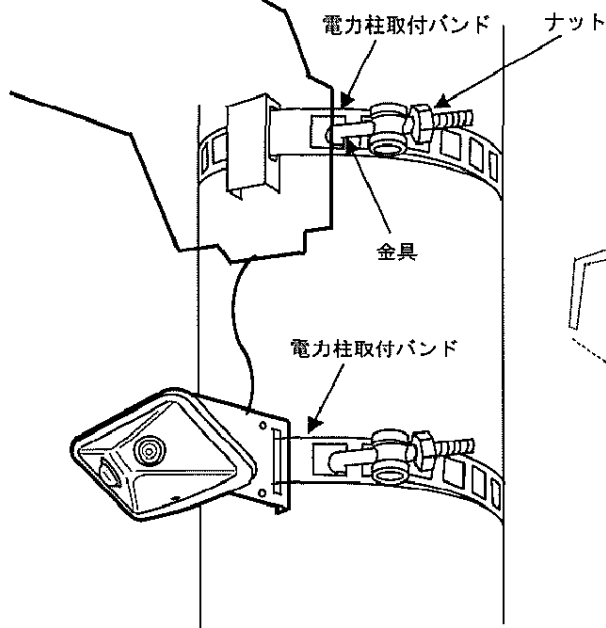
鋼管取付バンドは上図の位置になるように取付けてください。

鋼管取付バンドは上図の位置で取付けないでください。鋼管取付バンドのベースが変形し、締め付けが出来なくなります。

φ 60 等小径の鋼管取付の場合

電力柱取付の場合 (YK22815 或いは YK22821 を使用【2本】)

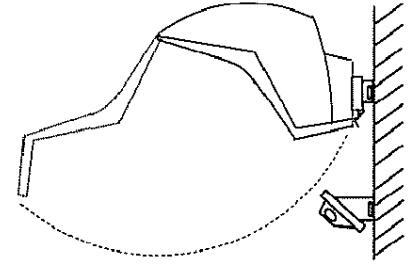
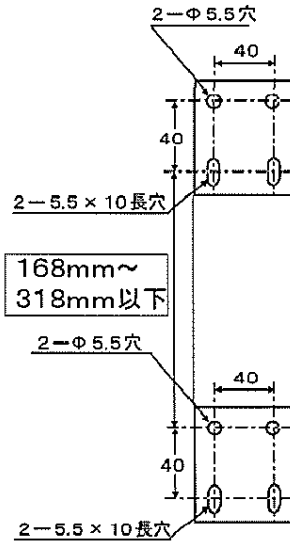
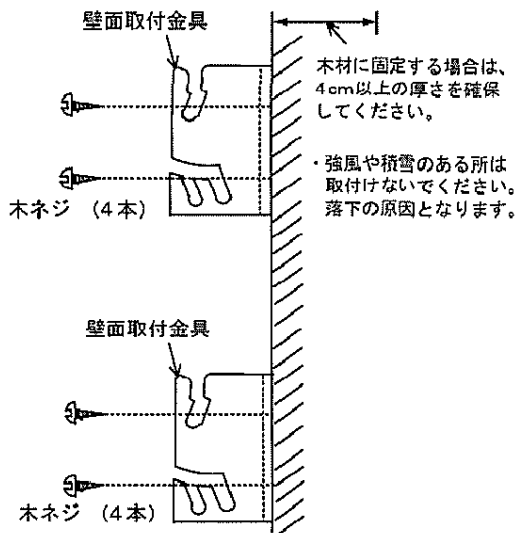
- ①金具を穴に引掛ける
- ②ナットを確実に締め付ける



・金具間距離は必ず上図の指定寸法で取付けてください。
取付に不備があるとグローブが開閉できなくなります

壁面取付の場合 (YK23095を使用【2個】)

① 壁面取付金具を壁面に、木ねじ(各4本)で確実に取付けてください。



・左図の寸法で取付けてください。
取付に不備がありますとグローブが
開閉できなくなります

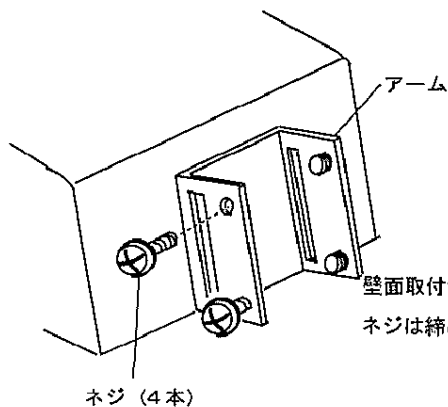
- ・木板への取付けは一時的なものとして、常設はさけてください。
- ・強風や積雪のある所は取付けないでください。落下の原因となります。

取付寸法図

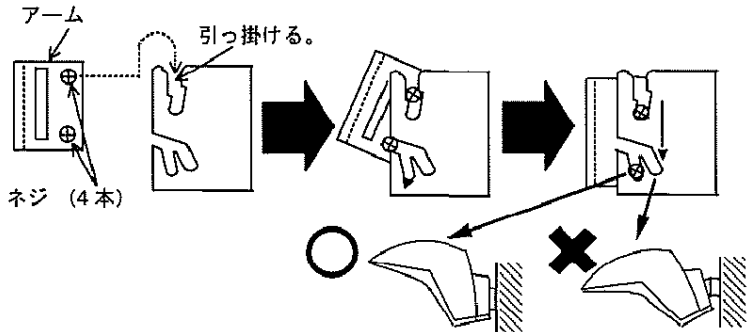
壁面取付金具への器具(灯具・センサ部)の取付けかた

灯具

② 壁面取付金具に付いているネジ(4本)を
灯具のアームにセットしてください。



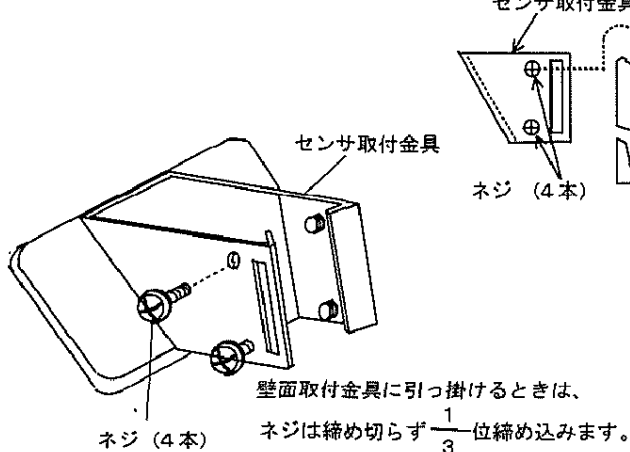
③ 壁面取付金具に引っ掛けて取付けてください。



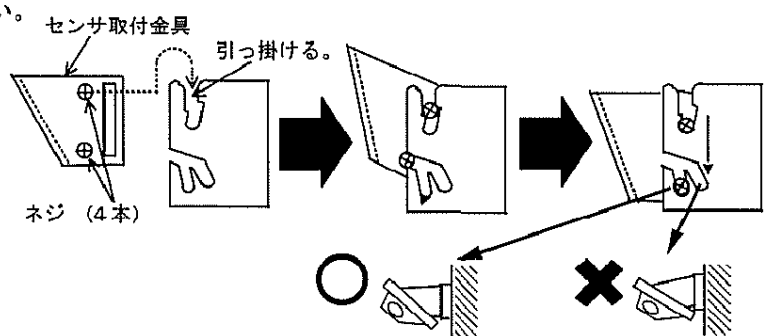
注) 壁面取付金具にセット後はネジを確実に締め込んでください。

センサ部

④ 壁面取付金具に付いているネジ(4本)を
センサ部のセンサ取付金具にセットしてください。

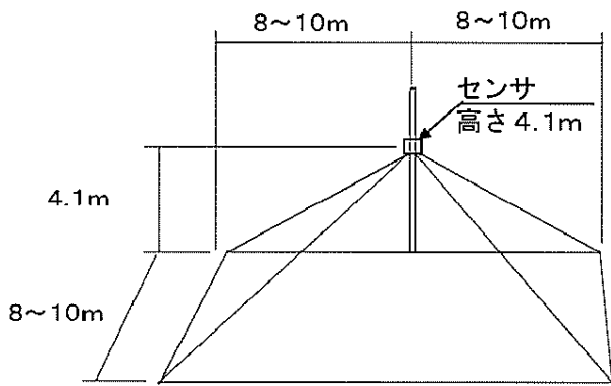


⑤ 壁面取付金具に引っ掛けて取付けてください。

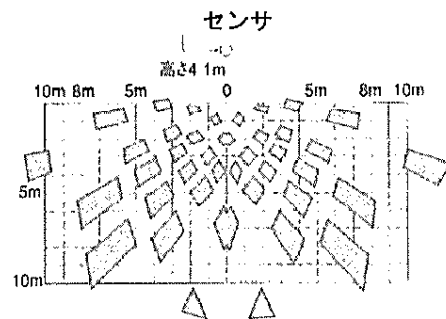


注) 壁面取付金具にセット後はネジを確実に締め込んでください。

センサの検知範囲



フル点灯保持時間^{※1}：1分
 センサの角度変更はできません。



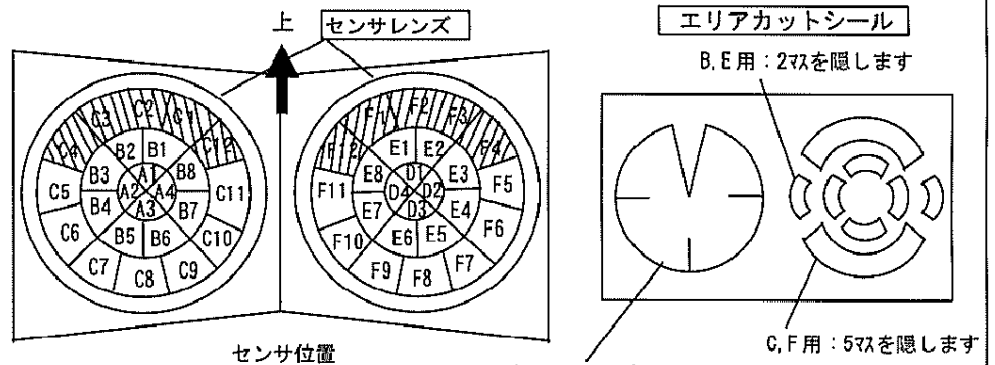
※1フル点灯保持時間とは
 センサが検知なくなつてからフル点灯を保持する時間のことです。また本商品にはフル点灯保持時間の調整機能は付いておりません。

- 注) 検知範囲は気温、服装、人の移動速度、進行方向、人の温度、器具の取付高さにより多少変化します。
- 注) 電源をONした直後の60秒間はランプがフル点灯します。
- 注) フル点灯中、検知範囲に入ると、点灯保持時間は延長されます。
- 注) この器具は電源ONして60秒経過後、人がセンサの検知範囲内に入ると、自動的に調光点灯からフル点灯に変わります。

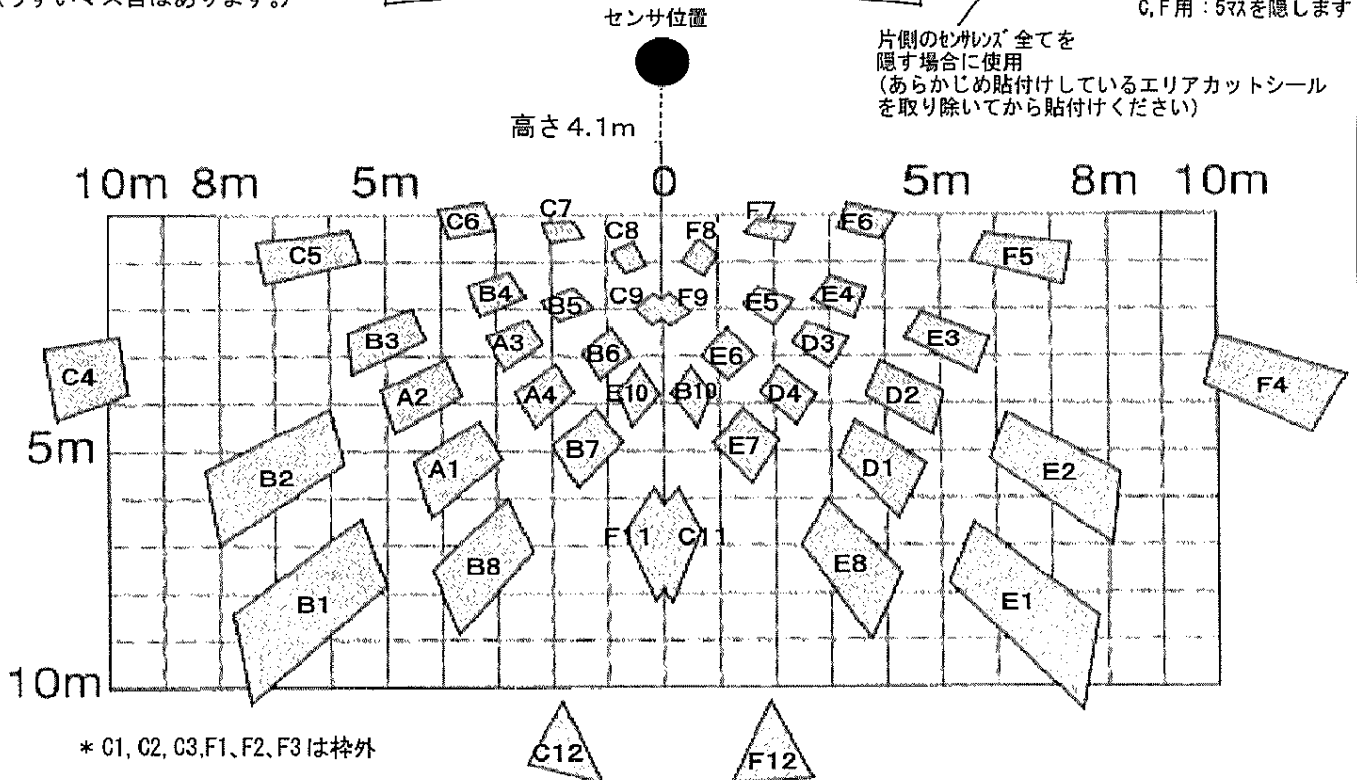
センサレンズにエリアカットシールを貼付けることで検知範囲を限定できます

右図のアルファベット上にエリアカットシールを貼付けると、下図のアルファベットに対応した検知範囲をカットできます。(斜線部は、検知範囲外も検知する為、あらかじめエリアカットシールを貼付けしています。)

注) 実際のセザリス[®]にはアルファベットは記載されていないので、注意して貼付けください(うすいマス目はあります。)



片側のセザリス[®]全てを隠す場合に使用
 (あらかじめ貼付けしているエリアカットシールを取り除いてから貼付けください)



* C1, C2, C3, F1, F2, F3は枠外

* 貼付け後、必ず検知範囲の動作確認を行ってください。

安全に関するご注意

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。

警告

- 器具を改造しない。感電・発火の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。感電・火災の原因となります。
- 構成部品の交換はしない。

注意

- お手入れの際には、必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスはことなります。ご使用期間が10年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。また、設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をしてください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

使用上のご注意

【センサの動作について】

- 下記のような場合、検知動作することがあります。
 1. 人以外の熱源（車両や犬、猫、鳥などの小動物）が検知エリアを横切る場合
 2. 急激な温度変化（路面温度の変化や気温の変化）がある場合
 3. 気温差のある風が検知エリアを横切る場合
 4. 気象条件（にわか雨、雪、台風、北風、雷、霧など）による温度変化がある場合
 5. 樹木などのゆれるものが検知エリアにある場合
 6. センサのすぐ側を昆虫が飛んだり、センサ部にとまった場合
 7. アマチュア無線など強力な電氣的ノイズがある場合
 8. 雷、ヘッドライトなど強力な光が直接センサに当たる場合
- 下記のような場合、検知動作しないことや感度が鈍くなったように感じる場合があります。
 1. 人と周囲の温度差が低い場合
（傘をさしている人、合羽、防寒着を着ている人、
気温の高い夏期など）
 2. 検知エリア内に人がいても動かない場合
 3. センサに向かって真っすぐ近づく場合
 4. ほこり・風雨・風雪でセンサのレンズ面が汚れた場合
（センサのレンズ面の汚れは、柔らかい乾いた布などで、
傷をつけないように拭き取ってください）
 5. 霧など熱線を透過しにくい気象条件の場合
 6. 検知エリアを遮られた場合（大型車両の駐停車など）
 7. 雷やアマチュア無線など強力な電氣的ノイズでセンサが破壊した場合

故障かなと思ったときは

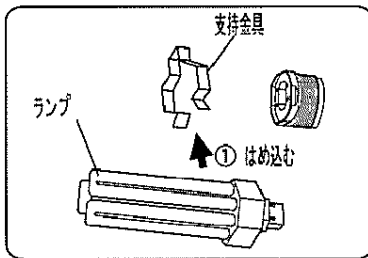
| (現象) | (考えられる原因) | (処置) |
|---------------------|--|--|
| 検知範囲内に人がいるのにフル点灯しない | 検知範囲の設定が適切でない | センサ部取付を調整する |
| | 器具に向かって真っすぐ接近している | 本センサは左記の場合検出しにくい場合があります |
| | 検知部（センサレンズ）が汚れていたり、蒸気や雨などの水滴がついている | 検知部（センサレンズ）を柔らかい布で傷がつかないようにふきとる |
| | 寒冷地などで顔がマフラーで覆われていたり、手袋をしている | 本センサは人の動きによる温度変化分を検出するため左記の場合検出しにくい場合があります |
| | 雨の日に傘で顔や手が隠れている | |
| 検知範囲内で人が静止している | 本センサは静止している人は性能上検出できません | |
| フル点灯したまま減光しない | 検知範囲に人がいる | 検知範囲外に移動する |
| 検知範囲内に人がいないのにフル点灯する | 検知範囲内に誤動作源がある 例) 他の照明器具、エアコン（室外機）の吹き出し口、風などでよく揺れるもの（看板、旗、植木等）、車の熱やヘッドライト、無線ノイズ（無線等）、犬や猫などが動いている | 誤動作源を取り除く (センサ部取付を調整する) |
| | 検知範囲の外側近くに道路があり、自転車や人の動きを検知している | |

保証について

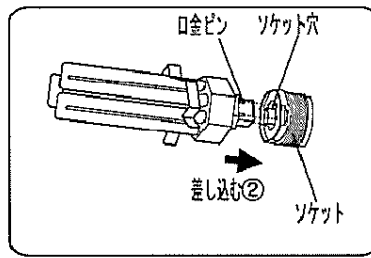
- 1: 保証について 本照明器具は犯罪防止を保証するものではありません。
この商品の保証期間は1年間です。安定器は3年間です。
但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 2: 保証書について 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 3: 補修性能部品（電気部品）について
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換 **⚠** 注意（必ず電源を切って行ってください。感電の原因になります。）

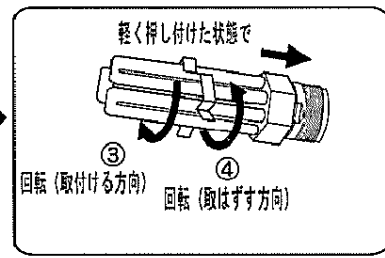
- 器具の清掃について 汚れを落とす場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり乾いた布で仕上げてください。
シンナーやベンジンでふかないでください。変色・変質の原因となります。
- ランプ交換について 本体表示にしたがって、指定されたランプをご使用ください。
- 器具の点検について 器具の性能を維持するために、ランプ点灯の確認（電源の投入）、センサの点検（裏面の【使用上のご注意】を参照）を定期的に行ってください。
センサ部が汚れてくると、感度が鈍くなります。やわらかい布で清掃してください。



① 支持金具にランプをはめ込む。



② ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、奥まで確実に差し込む。



③ 軽く押し付けた状態でランプを少し回転させ取付ける。(回転角度約15°)

④ 取りはずす場合には、軽く押し付けながら取付と逆方向に回転させてください。

回転が不十分な場合、落下の原因となります。

注) ガラス管を強く握らないでください。

ガラス破損の原因となります。

すべりやすい手袋はご使用にならないでください。

ゴム手袋のご使用をおすすめします。

| 品 番 | 適合ランプ |
|--------------|---------------------------|
| YFX41605KPX9 | DULUX T/E FHT42EX-N (昼白色) |

定 格

| 品 番 | 電 圧 | 入力電流 (全点灯時) | 消費電力 (全点灯時) | 周 波 数 | ラ ンプ 電 力 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|------------------|----------|
| YFX41605KPX9 | AC100V~242V | 0.48~0.18A | 41.4W | 50Hz/60Hz 専 用 | 42W |

パナソニック電工株式会社 施設・屋外照明事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048